

出会い ふれあい 助け合い

サロンのあべの

VOL.185

「大阪バリバリマップ」で バリバリ遊ぼう!

へサロン・あべのの10月の出会い

平成13年10月20日(土)へサロン・あべのの10月の出会いは、「大阪バリバリマップ」の発行にかかわった中部障害者解放センター事務局長の石田義典氏と自立生活センター・ナビの小坪琢平氏にお話を伺いました。

・「大阪バリバリマップ」とは

この本は、自立生活センター

・バリバリマップ クイズ
「大阪バリバリマップ」にまつわるクイズが出されて、参加者が答える形で進められた。

Q1 大阪の地下鉄で、一番早くエレベーターが付いた駅は？

Q2 バリアフリーの居酒屋

「えん」の店主が以前(10年前)にやっていた仕事は？

Q3 遊園地の入場料はだいたい千五百円ぐらいだが、障害者割引で一番安いところは？

Q4 USJの人気アトラクション「ターミネーター2 .. 3D」のショーの説明をしているキャラクターの名前は？

Q5 ナビの小坪氏がこのマップの中で大活躍しているが、載っている写真の枚数は？
参加者が知っていることや全

・ナビなど大阪府下24の障害者団体のメンバーが、障害を持つ当事者の視点で、「見て、聞いて、書いた」お出かけ情報誌。今春オープンしたUSJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)をはじめ、カラオケ・ボーリング・飲食店・ホテル・映画館・銭湯・デイトスポットなど約100施設のバリアフリー度を調べて、利用料金や営業時間なども紹介している。

然わからないこと。「あゝだ、こうだ」答えを考えるうちに、場が和んでいきました。

☆Q1～Q5の答え

- A1 地下鉄谷町線喜連瓜破駅
- A2 ヘルパー（介護福祉士）
- A3 エキスポランド、百円
- A4 あやのこうじれいか
- A5 11枚

・小坪琢平氏のUSJ体験

USJにバリアフリーの点検取材などで、5回くらい入場した。園内は広いので、電動車いすの電気切れになると帰途困るから、手動の車いすを借りて（使用料500円）介助者に押してもらった。その間電動車いすを預かってもらう費用が500円。USJは障害者が利用するに当たり「ゲスト・サポート・パス（障害者が優先的に入場でき

るパス）」を発行していたが、

このパスの発行に対するUSJの判断は流動的である。最近は発行しないようになっていた。

18のアトラクションは障害があっても、ほとんど楽しむことができる。基本的に乗り物に移



バリバリ遊ぼう！と話す
小坪さんと石田さん（左）

って楽しむものとショーやアトラクションを観て楽しむものとに分かれている。乗り物については、係員が介助をしてくれるが、アトラクションによって対応がまちまち。

なおUSJ内での飲食もい

が、気分をかえて再入場システムを利用して、パーク内のユニバーサル・シティ・ウオーク大阪でランチをとる方法も。

これだけ行ってもまだ全部は周りきれっていない。

・バリバリマップを発行して

8月に1000部発行して、9月に完売。800部を追加増刷。新聞・テレビ・ラジオなどが取り上げてくれたこともあってか、海遊館・図書館・入院患者など幅広い方に読まれて、予想以上の売れ行きに驚いている。発行までの過程が楽しかった。だが、みんなで調査したのをまとめて編集するのは、訂正・確認の繰り返しで大変だった。そもそも病院などの「社会資源マップ」を作るつもりだった

のが、バリアフリーをテーマにした情報誌は残念ながら少ない

それじゃあ作ってみようじゃないかというノリで始めた。不備などところもあると思うが、これを持って外に出てみようというきっかけなどになれば幸い。

休憩の後、質問や感想などを参加者から聞きました。

「新聞の記事を見てきた。マップを見てキャンプなどに活用したい」

「エステなど、美容室も載せてほしい」

「地図が少なく、場所がわかりにくい」

「女性の視点が少ない」

「本もいゝけど、ホームページの開設も……」

など甘・辛とりませでの感想がありました。

今後、新しいマップを作るかは未定であるが、今回の経過で見てきたもの、やり残したことをなんらかの形にしていければ：と、今後の情報追加にも期待を持たせていただいた、お出かけマップのお話でした。

参加者16人(山村貴司)

「大阪バリバリマップ」＝頒価700円(送料別)は、本屋さんでは販売していません。

問い合わせ先

中部障害者開放センター

社会資源マップ作成委員会

電話06-6797-4671

FAX06-6700-7955

*「大阪バリバリマップ」は、さろん文庫にも納められています。さろん文庫は金曜日午後、阿倍野区在宅サービスセンター・ピュロー室で開所しています。

貴重な体験

うえひら☆ゆきお

小坪さんと石田さんから「大阪バリバリマップ」のお話を聞いて、十六、七年前の体験を思い出しました。

「大阪街図」と聞いて、何のことか分りますか? 「大阪車いすガイドマップ」と言えば、思い出していただけるでしょうか。

国際障害者年を契機に、各地で障害者のためのガイドマップが作成されました。でも、そのほとんどが情報の羅列ばかり。しかも公共施設しか取り上げていませんでした。たしかに、当時としては必要な情報でしたが、お世辞にも、おもしろいとは言えないものばかりでした。そこで考えたのが、遊びに焦点をあてたガイドマップ作りでした。障害者の遊び心を刺激することで、もつと街に出てもらおう。それが「大阪街図」の制作コンセプトでした。

車いすで街に出ること自体、まだまだ、思うようにならなかつた頃ですから、その活動も多難なものでした。仲間を集める。ボランティアを集める。資金を集める。そして、情報を集める。当時代表をしていた堂ノ元さんの苦勞も、計り知れないもの

があつたと思います。

実際に梅田や難波を歩き回り、その取材から得た情報だけが頼りでした。快く取材に応じてくださるお店がある反面、取材を断られることもありました。でも、この取材活動をする中で、本當に得るものが多くありました。車いすで街に出る度胸。そんなものがついたらと思います。ガイドマップが完成する頃、メンバーたちにとつては、そのガイドマップが必要ななくなつていたのです。とにかく楽しかつたし、貴重な体験でした。

遊びをベースにしている点など、今回の「大阪バリバリマップ」も、コンセプトは同じだと思えます。でも、物理的な環境は格段に良くなつていきます。情報量も、比べものにならないほど多くなつていきます。だからこそ、取材に携わつた人たちだけに、貴重な体験をさせておくことはありません。このマップを手掛かりに、まず一歩、踏み出してみましよう。そこに載っていないところにも、行ってみてください。きつと、貴重な体験があると思います。

障害者の雇用と 就労を考える

6

経済・社会の時代的背景

- 2 -

茅原聖治

第三に、技術の進歩である。PCが社会参加に役立つと言っても、キーボードとマウスを前提とした入力装置に必ずしもすべての障害者が適応できるわけではない。そこで、何らかの入力支援装置が必要となるのであるが、これらの開発に新しい技術が使われている。各種の入力支援装置が福祉機器という総称で商品化されている。米国では、身体のひとつが動かさなくても、目の動きをセンサーが読みとってPCに入力する装置が開発されている。これだけでなく、コンピュータを利用した就労支援機器や生活支援機器もまた徐々にではあるが

登場してきている。このように技術の進歩は、障害者の潜在能力を外界に出力する各種のデバイス（装置）を提供するのみならず、電動車いすや義手・義足、人工臓器などの開発にも当然影響を与えるものである。

第四に挙げられるのは、バリアフリーの進展である。バリアフリーとは、「高齢者や心身障害者が暮らしやすいように、物理的・精神的・社会的障害（バリエ）を取り除くこと。これによって高齢者や心身障害者が若い健常者と同様に暮らし、社会参加することが理想とされる」（『有斐閣経済辞典第三版』）ことを指す概念である。まず物理的バリアフリーについては、平成十二年に施行された「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（通称「交通バリアフリー法」）により、鉄道、バスなどの交通機関を障害者が利用しやすいように整備していく方向性が打ち出されている。この交通バリアフリーは障害者の活動範囲を拡げる、もしくはは就労についていえば通勤の可能性を拡大する効果があると考えられる。

精神的（心理的）バリアフリーは、近

年乙武洋匡さんが書いた『五体不満足』がベストセラーになったことや障害者が主人公になったドラマ、例えばTBSドラマ「ビューティフルライフ」が高視聴率を収めたことなどに示されているように、少しずつではあるが進んでいると感ぜられる。これらの現象は、価値観の多様化や物理的バリアフリーの結果として、街で障害者を見かけることの「慣れ」などに起因すると考えられる。

このように、障害者が自由に社会に出るためには障害者についての無知から来る偏見、固定観念などの心理的バリアの除去に努めることが重要な課題となる。特に、仕事をする場としての職場における心理的バリアフリーの進展は障害者が働くことの一つの鍵となる。

ただし、現在においても、欠格条項（後述）のように、障害者が社会・経済活動に参加する機会を奪う制度的・法的な障壁が現存しているが、少なくとも国の制度として障害者の参加機会を保障しなければ、社会の側が心理的バリアを取り除くとは期待できない。

★感情の偽装

自分の感情に気づくことは、案外難しいものだ。「こうでありたい」と思う自己像があったとき、それに合う感情は強められ、逆に、それに合わない感情は抑えらえることが多い。

たとえば、私は先日、社会福祉学科の教員として、将来は児童福祉にかかわる仕事をしたという学生と話した。その理由として、彼女は「私は子どもたちと接するのが好きだから」と言う。

ところが、彼女の話をよく聞いてみると、実際に子どもたちとかかわった体験があるわけではない。本人が小さいころ、妹や弟の世話をするのが好きだったという程度のことなのである。

では、なぜ子どもたちが好きと答えたかというところ、どうやら彼女には「子どもが好きで女性が良い人だ」という価値観があるらしい。だから自分も「子どもが好きで女性でありたい」と思っているようだ。

「そうでありたい」という気持ちは、やがて「そうにちがいない」という思いにつながる。だから子どもに接したことがないのに「私は子どもが好きだ」と信じるようになったのだろう。

そんな彼女が社会福祉の実習で施設の子どもたちと出会う。空想ではなく、現実の子どもたちとのかかわりが始まった。すると、子どもとの関係が思ったようにはいかないことに彼女は気づく。だから、しだいに子どもが好きになれなくなる。

しかし子どもが好きになれないことを自分で認めてしまうと「私は子どもが好きで女性だ」という自己像が壊れてしまうから、それはできない。そこで彼女は「私が子どもを好きでも、子どもの方が自分を嫌っている」と思いはじめた。自分のなかの認めたくない感情を別の人のなかにあると信じてしまうことは、よく知られた心理現象だが、彼女もその例になってしまったわけだ。



子どもたちから嫌われていると思うことだ彼女が、次にしたことは、子どもたちから嫌われない方法を探すことだった。しかし、自分が好きになれない人から嫌われない方法は多くはない。人は自分を嫌っている人を好きにはなりにくいものだからだ。

子どもたちに好かれようと、あれこれと努力しても、どうしてもうまくいかない。自信を無くした彼女は、自分には人間的な魅力がないのかもしれないと思いはじめた。

しかし問題は、きっとそんなところには無いのだろう。彼女がまず考えなくてはならないことは、自分自身が子どもたちに本当はどういう気持ちをもっているかを振り返ることである。

子どもたちを好きになれないでいる自分の姿を、彼女が認めることは難しいかもしれない。なぜなら彼女の価値観では子ども好きな女性こそ素晴らしい女性であり、自分はその典型であると信じていたからである。

子どもが好きだと信じていたから、児

童福祉のために働きたいと思い、社会福祉学科の大学にも入学した。いまさら自分も子どもが好きではなかったと認められるだろうか。

しかし、それを認めなければ前には進めない。すべての子どもをそのままに愛

お知らせ

ハサロン・あべのV12月の出会い

日 時：12月1日(土)午後12時～2時

集合時間：午前11時30分

集合場所：地下鉄御堂筋線 あびこ駅①

出口：マクドナルド前

場 所：「なごみ処 えん」

「大阪市住吉区荻田5-6-5

メゾン大大友1F TEL 6690-1151

駐車場・車いすトイレあり」

内 容：「ひるを楽しもう

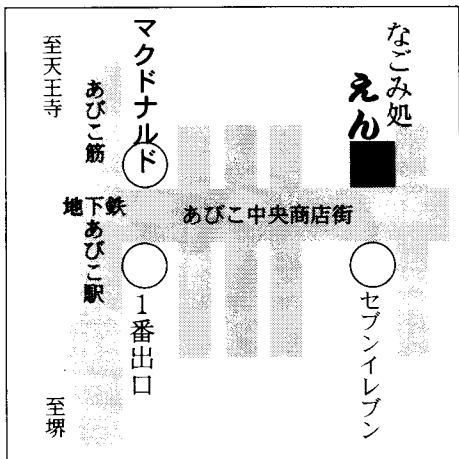
(サロン恒例昼食会)」

会 費：2、500円

定 員：20名

することができるのは神さまか聖人くらいだと私は思う。「そうでありたい」という思いから自分の感情を偽り、繕い(繕)続けても出口は見えない。勇気をもって自分の本当の気持ちを探り、そこから出発するしか道はないと思う。(知)

申し込み締め切り：11月25日
申し込みと問い合わせ先：TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



◎ 11:30 マクドナルドの前に集合

植物あれこれ

第三十四回

山口康二郎

—花びと会議二〇〇一—

「花と緑あふれる環境先進都市」を目指す大阪市の花と緑のまちづくりシンポジウム「花びと会議二〇〇一」に参加しました。皆さんの中にも参加された方があると思います。

私が一番印象的だったのは、「花びとトーク」のジェフ・バーグランドさんの話でした。NHK教育番組「キラリと生きる」でおなじみの方です。現職は帝塚山学院大学



教授の「私が大阪を大好きな理由(わけ)」と題したトークでした。

大阪市主催にも関わらず、いきなり「あかふじ米」のコマーシャルを歌わせられる羽目になりました。実はこれが日米の文化の違いであることが、後から分かってきました。アメリカの個人主義文化は、如何に自己主張をして自分の存在をアピールするかであり、日本文化は集団主義で集団の中で如何に他人に合わせるかの違いであるといえます。氏が大阪を好きな理由は、個人主張をしている街だからです。敬虔な寺院のすぐ隣にラブホテルがあったり、非常に個人主張をしている街だからだと笑わせました。

花や緑についても、彼はこの論理を主張しています。お上からの一声で花づくりをするのではなく、好きな人が個人的、主体的に始めることの重要さを訴えられました。「わたしは、花をつくるのは嫌いです。で

も見るのは大好きです」とはっきり自分の思いを述べ、植えて楽しむ人、見て楽しむ人、いろいろな人が繋り合って、緑の街づくりをしていくことの大切さを強調していました。

氏は、決して自然界を蔑ろにはしていない。文化の語源CULTUREが「耕す」ということであり、自然界が人間に与えてくれる恵みに深い畏敬をもっており、自然と人との繋りにも言及し、直線である現代文化を癒すのは、すべて曲線である自然。自然と共に生きていきたいと結ばれました。私が最も共感したのは、銀杏の葉っぱがひらひら落ちるのを見るのが好きだといった氏の言葉でした。

雲が流れる 公園の

銀杏は手品師 老いたピエロ

口上(こうじょう)は いわないけれど

馴れた手付で

ララン ララン ララン

カードをまくよ

秋が逝(ゆ)くんだ 冬が来る

銀杏は手品師 老いたピエロ

(公園の手品師)

ききみみずきん

おめでとう 二つ

毎月、サロン紙に「晴れのち晴れ」のコラムを書いてくださっている稲垣恵雄さんが、このたび「たまごが ポニー」を編集工房ノアより出版されました。稲垣さんは幅広い執筆活動をされておられ、これまでも「わたぼうし文学賞」や「日本童話新人賞」を、またエッセーなどでも数多くの大賞を受賞されておられます。今回の出版は、ご夫妻の結婚二〇周年を記念して、選び抜かれた童話六編をまとめられました。お人柄がにじみ出た優しい内容に、可愛らしいホットなイラスト(清水みどり・絵)が素敵な童話絵本です。さろん文庫に贈呈を受けましたが、お近くの本屋さんでも聞いてみてください。さい。

もう一つのお話は、日本聴導

犬協会が、日本青年会議所主催の全国NPO活動コンテストに駒ヶ根の青年会議所より推薦を受けて「NPOアワードinおさか」に参加されたところ、一〇〇以上のNPO活動団体の中から選ばれてグランプリ大賞(一位)を受賞されました。日頃の活動が大きく認められたことと存じます。これからの聴導犬育成の前途を明るく照らしてくれる事と思いますが、それだけでなく、介助犬全体の社会的認知にも期待が持てるお話だと思えました。お世話くださる有馬さんのご苦勞も一時、和まれたことでしょう。

良いニュースを聴かせていただくのは本当に嬉しいです。

(け)

感謝

カンパ、切手、冊子、お菓子等、またサロングッズのお買い上げをありがとうございました。

稲垣恵雄、岡 賀寿子、桑田佳代子、
阪井健二、田村昌子、真殿香与女、
その他、



牡蛎

牡蛎の旬。牡蛎の旨みを封じ込めたワンタン包み揚げ、ただ素焼きしただけのもの、牡蛎ご飯、土手鍋、醤油炒め、フライ、薫製など調理法は幅広い。もちろん生食も。なにがなんでも「かるた」です。

解説付き かるた冊子一五〇円

美智子のこんな話

岸田美智子

「こんな助成制度が
大阪市にできました」

以前、このコーナーで、日常生活用具、給付制度の問題点で、パソコンが対象になつていない事などを書きましたが、今度大阪市は、視覚障害者や手の不自由な人がパソコンを使う時に、使い易くするために必要な周辺機器やソフトなどを購入する際に助成する制度を始めました。

このような機器は、高額な場合が多いので、とても助かります。でも、今年度は八

視覚・身体障害者が楽にパソコンを

支援機器の購入、助成

大阪市

大阪市は、視覚障害者や手の不自由な人がパソコンを使う際、必要となる周辺機器やソフトの購入費を助成する制度を始める。国と市が2分の1ずつ負担する制度で、障害者の就労や日常生活での「情報格差」の解消を狙う。

視覚障害者向けには、入力した文字を音声に変換したり、文字を大きくしたりするソフトが開発されている。また、上肢が不自由な人には、大型キーボードなどの周辺機器もある。こうした特殊な機器は高額で普及が遅れがちだった。

11月以降、これらの機器を購入する際、10万円を限度に3分の2が助成される。市内在住者の視覚障害、上肢機能障害1～2級の人で、所得などが一定の条件を満たすことが必要。1人1回限りで、今年度中は84人計840万円分の補助が見込

まれている。問い合わせは各区の健康福祉サービス課健康福祉係まで。

平成13年10月30日付
朝日新聞朝刊

四人しか予定されていないようなので、皆さんお早目に申請しましょう。

そして何より問題になってくるのが、パソコン本体を購入する際への助成制度です。本来は、この本体への助成制度が先に実現すべきものであると思うのですが、どうなっているのでしょうか?!

○連絡先

自立生活センター・MY・DO(まいど) 担当 岸田

〒五五八-0002

大阪市住吉区長居西二-九-十二
キミハウス一階

TEL 〇六-六六〇九-三三三三

FAX 〇六-六六〇九-三三二〇

E-mail

cil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp

「文化の日」に思う

十一月に入つてまもなくすると「文化の日」を迎える。

「文化の日」は国民の祝日の一つで、かつて明治節であった十一月三日が、昭和二十三年に「文化の日」と改められた。この日の前後はすっかり天候が安定し、秋晴れに恵まれる日も多いが、特に「文化の日」は「晴れの特異日」といわれ、雨の降らないことで知られている。

今年の「文化の日」はどうだろう。当日は久宝寺緑地で、東大阪生協病院の「健康まつり」が開かれ、私たちの患者会ではバザーや食べ物のお店を出すことにしている。是非とも晴れてほしいものである。
ところで「文化の日」といえば

晴れのち晴れ ③8

稲垣 恵雄

菊の香りがほんのり漂ってくる。菊といえばコスモスとともに秋の代表的な花である。原産地は中国だが、色も形もさまざまで種類も多く、わが国でも広く観賞されている。

そしてまた「文化の日」から文化勲章のことが連想される。文化勲章は申すまでもなく学術にすぐれ、功績のあった人に贈られるものでこれまでにたくさんんの受賞者がおられる。

文化勲章とは比べものにならないが、私もある同人誌の「随筆賞」に選ばれた。二度目の受賞だが、今回は苦勞して書いただけにとてもうれしい。これを励みにこれからも良い文章を書いていきたい。

入選の通知届くや文化の日

恵雄

朗読テープの「」案内

朗読グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第184号の録音テープが出来ました。

朗読テープ文庫

- (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第184号までそろっています。
(b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はろー!」
(c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
(d) 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成七年五月の出会い」放送分(30分)
(e) エッセー集「逃げた『ヨナ』くボランテニア活動の周辺」(岡本栄一著)糸でんわ音訳
(f) 「キミたちだけが困るんだ」身障者だけで旅した十余年」(山田誠1995・2・22著)糸でんわ音訳
(g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著)糸でんわ音訳
(h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著)糸でんわ音訳
(i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著)糸でんわ音訳
(j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著)糸でんわ音訳
(k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修)大阪市立天王寺図書館制作
(l) 「知られない愛について」(岡知史著)ほけつと音訳
(m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著)糸でんわ音訳
(n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著)糸でんわ音訳
(o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著)糸でんわ音訳
(p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著)糸でんわ音訳

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(06・6691・1028)まで。



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」12月の出会い

日時:12月16日(日)午後1時30分~4時

場所:淀川区民センター「やすらぎ」

大阪市淀川区三国本町2-14-3

内容:丸いケーキで今年も丸く収まりますように
~今年もよい年でしたか、丸い丸いケーキを作り来年
もよい年でありますように~

パネラー:参加者でケーキ作りに挑戦します。

会費:なし

問い合わせ先:淀川区社協(ボランティア・ビューロー)

☎06-6394-2900

E-mail:kubota53@mbxinet-osaka.or.jp

■「サロン・ひらの」12月の出会い

日時:12月22日(土)午後~

場所:ここにこセンター(大阪市平野区平野東2-1-30)

内容:クリスマス会

会費:100円

申し込み締め切り日:12月15日

申し込み・問い合わせ先:平野区ボランティア・ビューロー

大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」12月の出会い

日時:12月8日(土)午後1時30分~4時30分

場所:西区ボランティア・ビューロー室

大阪市西区北堀江4-5-14 6階(西区役所隣)

地下鉄=西長堀駅4-A号出口からすぐ

市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ

内容:みんなで、クリスマスパーティー!

~クリスマスソングを聞きながら、みんなでファイフ
とパーティーを楽しみましょう。サンタさんが来るか
もよ。忘年会も兼ねて・・・~

会費:中学生以上=500円(1人) 小学生以下=無料

問い合わせ先:宮協 ☎090-3949-6973

■《てくてく・すみよし》12月の出会い

日時:12月8日(土)午前11時~午後2時

場所:バリアフリーのお店 なごみ処「えん」(車いすトイ
レあり) =住吉区荻田5-6-5 ☎06-6690-1151

内容:昼食会(ケーキ・コーヒー付)

ハーモニカとギター演奏 ゲームなど

会費:2500円

定員:20名

申し込み締め切り:11月末日

申し込み・問い合わせ先:山本篤江 ☎06-6692-8411

■小さな友の会 こころの集い

日時:12月16日(日)午後6時30分~

場所:岸和田市立富山総合センター

岸和田市野田町1-5-5

☎0724-38-2321

内容:いのちのやさしさと、かなしみを見つめる

~釜ヶ崎と子供たちの社会いっしょに~

パネラー:西山善樹さん(山王子どもセンター理事長)

参加費:なし(ただし、カンパのご協力を)

問い合わせ先:阪井健二 ☎0724-22-0686(夜間のみ)

E-mail:tisanatmonckai@di.pdx.ne.jp

■「サロンつるみ」12月の出会い

日時:12月2日(日)午後1時30分~4時

場所:鶴見会館2階

大阪市鶴見区横堤5-5-51

(地下鉄鶴見緑地線横堤駅5番出口)

内容:ボランティア四力山話

パネラー:河元義和氏(大阪ボランティアセンター職員)

会費:なし

問い合わせ先:鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)

田村 ☎06-6913-7070

■サロン『アイ』12月の出会い

日時:12月8日(土)午後1時30分~午後4時

場所:生野在宅サービスセンター

「おちやま」2階ボランティアルーム

大阪市生野区勝山北3-13-20

内容:「デイ・サービス」って何?

パネラー:今別府 清香氏

会費:なし

問い合わせ先:生野区社協(ボランティア・ビューロー)

☎06-6712-3101

■「サロンのたみ」12月のお楽しみです。

これは便利。

一筆箋

1冊100枚綴 ¥150—

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力ください。

FROM EDITOR

編集後記

ボランティア同好会で壁新聞作りに募金活動、琴部では演奏と一人何役もこなすパイタリティーに、もうひとつはボランティアにしっかりしたポリシーを持っている柴本さんに、大きな拍手がありました。聞けば、1・2年の部員がいないとか。折角柴本さんたちが一生懸命作ったボランティア同好会です。後輩に引き継がれることを祈ります。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.185 [H.13.11.17.発行] 定価¥100.

代表；山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071

連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941

印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDEAL2F TEL06-6719-8212